

総合戦略事業シート					項番	1-1-1		
総合戦略における位置づけ	基本目標	3. 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる						
	施策名	(1)若い世代を中心としたUIターンの促進						
施策のKPI (重要業績評価指数)	設定項目	県外の若者が益田市で交流活動した延べ人数(再掲)						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2 KPI 達成度 (%)
	目標				300人	300人	500人	
	実績				190人	269人	0人(14人)	2.8%
事業名	ひきみ田舎体験推進事業				担当課	連携のまちづくり推進課		
R2事業概要	目的	<p>匹見の魅力を市内外にPRし、様々な田舎体験事業を実施することで、交流人口の拡大や関係人口の掘り起こし、更には、将来的なUIターンへのきっかけづくりに繋げる。</p> <p>また、ボランティア事業も実施し、地域が抱える高齢化や人口減少による人手不足等の課題解決を図る。</p>						
	対象者	匹見地域の振興を図るために、当該地域の住民により組織された団体						
	手段(内容)	<p>○下記の取組に対する補助金交付</p> <p>(1)持続可能な地域社会の仕組みづくり</p> <p>(2)地域に活力を生む産業の振興</p> <p>(3)日常生活を支える諸機能の維持</p> <p>○交付先及び交付額</p> <p>ひきみ田舎体験推進協議会 410千円</p>						
R2事業実績に対する検証	課題(推進上の問題・外部環境の変化等)	改善点の検証						
		<p>○令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のため体験事業がすべて中止となったが、ボランティア事業については3回実施し、匹見町外から14名の参加があった。また、定住情報誌「おかえり」は年2回発行した。(令和2年度に中止となった事案件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田舎体験事業…4事業 ・ボランティア事業…5事業 <p>○各活動団体の高齢化や人口減少による後継者不足等の課題がある。</p>				<p>○コロナ収束後の活動を見据え、パンフレット(田舎体験ガイド)を更新した。</p> <p>○これまで行ってきた活動が今後も継続して取り組めるよう、各活動内容を動画等で記録して残しておくなど、今後、協議会内で検討していきたい。</p>		
R3の取組方針(第2期総合戦略における取り扱い)	引き続き地域の魅力を発信し、田舎体験事業を継続的に実施することで、交流人口の拡大や関係人口の掘り起こし、UIターンのきっかけづくりに繋げたい。また、ボランティア事業を活用して、地域が抱える高齢化や人口減少による人手不足等の課題解決、さらには地域経済の活性化に繋げたい。							
対象事業費(単位:千円)	年度	予算額	決算額(見込額)	財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	H27							
	H28			R1年度から事業実施				
	H29							
	H30							
	R1	600	547	273	0	274	0	
R2	600	584	290	0	294	0		
備考								

本事業のみ。
匹見町外からの参加者

総合戦略事業シート				項番	1-1-2			
総合戦略における位置づけ	基本目標	3. 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる						
	施策名	(2)企業と連携したUIターン対策の推進						
施策のKPI (重要業績評価指数)	設定項目	都市部での定住イベント						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2 KPI 達成度 (%)
	目標	6回	6回	6回	6回	6回	7回	
	実績	8回	7回	7回	7回	7回	0回	
事業名	ますだ暮らし推進事業			担当課	連携のまちづくり推進課			
R2事業概要	目的	ますだ暮らし希望者に対する、受入れから定住後のフォローまでの一貫したサポート体制の構築により、UIターン者の増加及びその後の定着を促す。定住窓口の一本化及び庁内関係各課及び庁外関係各所との連携体制を構築し、定住に関する様々な情報の収集と発信を総合的に行う。						
	対象者	都会に住む田舎暮らし希望者及び益田市出身でUターンを考えている者。						
	手段 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・ますだ暮らし相談員及びまちづくりコーディネーターを配置し、田舎体験イベント等の実施、情報発信、定住者相談、定住後のフォローまで一貫した取り組みを行う。 ・定住フェア等への積極的な参加による情報発信及び定住相談の実施。 【取組成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、都市部で開催予定であったUIターン相談会、フェアは全て中止となった。 ・地方移住への関心が高まったことによる都市部から移住相談に対応するため、オンライン相談窓口を開設した。 						
R2事業実績 に対する検証	課題（推進上の問題・外部環境の変化等）			改善点の検証				
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、都市部での対面式による移住相談会、田舎体験イベントを中止した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染状況を考慮し、移住相談会（対面式）の実施検討、オンライン相談窓口の推進を図る必要がある。 				
R3の取組方針 (第2期総合戦略における 取り扱い)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性のある益田の暮らしについて情報発信を強化する。 ・関係機関と連携し、UIターン希望者の情報提供、移住・定住後のサポートなどきめ細かな対応の充実を図る。 							
対象事業費 (単位:千円)	年度	予算額	決算額 (見込額)	財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	H27	4,695	4,481	4,204	0	0	277	
	H28	4,694	3,928	0	2,700	0	1,228	
	H29	4,274	3,872	0	0	3,800	72	
	H30	12,181	11,917	0	0	11,900	17	
	R1	12,113	12,057	5,631	0	6,352	74	
R2	8,879	7,287	3,619	0	0	3,668		
備考								

総合戦略事業シート				項番	1-1-2			
総合戦略における位置づけ	基本目標	3. 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる						
	施策名	(2)企業と連携したUIターン対策の推進						
施策のKPI (重要業績評価指数)	設定項目	UIターン者サポート宣言企業登録数						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2KPI 達成度 (%)
	目標			70社 (H29~R2累計)				
	実績			50社	59社	66社	84社	120.0%
	設定項目	UIターン者サポート宣言企業へのUIターン就職者数						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R12KPI 達成度 (%)
	目標			15人	15人	15人	25人	
	実績			20人	19人	27人	19人	76.0%
事業名	ますだ暮らし推進事業			担当課	連携のまちづくり推進課			
R2事業概要	目的	就業機会の拡充、職場定着への支援等、企業側が取り組むUIターン者や若者に対するサポート体制の整備を促進し、UIターン者や若者の定着を図り、もって人口拡大に資する。						
	対象者	市内に事業所又は事務所を有する民間企業又は団体						
	手段 (内容)	企業側が自主的に取り組むサポート体制の内容を宣言し、「益田市UIターン者サポート宣言企業」として登録する。 宣言企業に正社員で雇用されたUIターン者はますだ暮らし定着支援事業助成金の企業就職加算の対象とする。 【取組成果】 宣言企業登録件数 84件 UIターン者の企業就職加算件数 15件						
R2事業実績 に対する検証	課題（推進上の問題・外部環境の変化等）			改善点の検証				
	・日本郵便株式会社との包括連携協定の締結に伴い、市内19郵便局がUIターン者サポート宣言企業に登録された。 ・UIターン者サポート宣言企業及び社員を取材し、「ひとが育つまち益田」ウェブサイトにおいて情報発信した。			・継続して登録企業等のPRを行うとともに、登録の推進を図る。				
R3の取組方針 (第2期総合戦略における 取り扱い)	・継続して多様な手法による登録企業等の情報発信を行う。 ・登録企業、庁内関係課及び（公財）ふるさと島根定住財団等関係機関と連携し、UIターン者や若者の就業機会の拡充、職場定着への支援を図る。							
対象事業費 (単位:千円)	年度	予算額	決算額 (見込額)	財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	H27	4,695	4,481	4,204	0	0	277	
	H28	4,694	3,928	0	2,700	0	1,228	
	H29	4,274	3,872	0	0	3,800	72	
	H30	12,181	11,917	0	0	11,900	17	
	R1	12,113	12,057	5,631	0	6,352	74	
R2	8,879	7,287	3,619	0	0	3,668		
備考								

総合戦略事業シート				項番	1-1-2			
総合戦略における位置づけ	基本目標	3. 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる						
	施策名	(3) 地域で支えるますだ暮らし						
施策のKPI (重要業績評価指数)	設定項目	ますだ暮らしサポーターの登録者数						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2 KPI 達成度 (%)
	目標	1地区1人以上 (H27～R2年度)						
	実績	0地区 0人	5地区 (計14人)	9地区 (計29人)	10地区 (計29人)	11地区 (計32人)	18地区 (計49人)	90.0%
事業名	ますだ暮らし推進事業			担当課	連携のまちづくり推進課			
R2事業概要	目的	UIターナーが安心して暮らせるよう、暮らしに必要な情報提供、地域内の案内や相談等の支援を行う体制を構築することにより、UIターナー者の定着を図り、もって人口拡大に資する。						
	対象者	地域自治組織等住民団体						
	手段 (内容)	市が行う定住支援事業の情報提供などをボランティアでサポートする「ますだ暮らしサポーター」を設置する。 主な役割として①移住促進に関する市への情報提供、②移住希望者の相談・助言、③お試し滞在時の協力、④空き家の掘り起こし等空き家対策を行う。 【取組成果】 登録者数 49人 (18地区)						
R2事業実績 に対する検証	課題 (推進上の問題・外部環境の変化等)			改善点の検証				
	・日本郵便株式会社との包括連携協定の締結に伴い、市内18郵便局長がますだ暮らしサポーターに登録された。			・活動実績がない地区に対して、他地区の取組事例を伝えるなど、情報共有を進める。				
R3の取組方針 (第2期総合戦略における 取り扱い)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治組織等住民団体と連携し、より多くのサポーター登録を目指すとともに、個人だけでなく、組織としてのサポート体制を構築することで、地域ぐるみの定住支援体制を目指す。 ・活動の意義を住民の方に身近にとらえていただく働きかけも行いながら、地域と行政が連携し定住支援を行う。 ・研修会等を開催し、サポーター登録の促進と活動の活発化を促す。 							
対象事業費 (単位:千円)	年度	予算額	決算額 (見込額)	財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	H27	4,695	4,481	4,204	0	0	277	
	H28	4,694	3,939	0	2,700	0	1,228	
	H29	4,274	3,872	0	0	3,800	72	
	H30	12,181	11,917	0	0	11,900	17	
	R1	12,113	12,057	5,631	0	6,352	74	
R2	8,879	7,287	3,619	0	0	3,668		
備考								

総合戦略事業シート				項番	1-1-3			
総合戦略における位置づけ	基本目標	益田市の総合戦略における設定項目なし						
	施策名							
施策のKPI (重要業績評価指数)	設定項目							
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2 KPI 達成度 (%)
	目標	/	/	/	/	/	/	
	実績	/	/	/	/	/	/	
事業名	地域づくり支援体制整備事業			担当課	連携のまちづくり推進課			
R2事業概要	目的	持続可能な地域づくりを目指す団体に業務委託をし、地域づくりの担い手を育成することを目的とする。						
	対象者	NPO法人、市民活動団体、地域自治組織、大学生等						
	手段 (内容)	業務委託により地域内の対話促進や場づくりなどの地域支援・人材育成を図る。 ①地域づくり支援事業 まちづくりラウンドテーブル(MRT)、地域づくり人養成講座、地域での各種研修 ②関係人口拡大支援 大学生による地域活動支援 ③定住促進 UIターン者の交流、情報発信(ホームページ更新)						
R2事業実績 に対する検証	課題(推進上の問題・外部環境の変化等)	改善点の検証						
	地域づくりの担い手育成。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業務が着実に実施されることにより、地域づくりに関わる人材の育成に繋がった。 ・委託する業務については前年度の実績や進捗を踏まえ、適宜見直しをし、効果的な業務委託を行う。 						
R3の取組方針 (第2期総合戦略における 取り扱い)	中間支援組織への委託事業の実施により、各地域の支援や地域の担い手育成を進める。							
対象事業費 (単位:千円)	年度	予算額	決算額 (見込額)	財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	H27							
	H28			R1年度から事業実施				
	H29							
	H30							
	R1	6,211	5,414	2,429	2,900	0		85
R2	14,300	14,300	7,150	0	0		7,150	
備考								

総合戦略事業シート				項番	1-2-1			
総合戦略における位置づけ	基本目標	2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる						
	施策名	(4) 学力の向上や教育環境の魅力化の推進						
施策のKPI (重要業績評価指数)	設定項目	拠点づくりに取り組む地区数						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2 KPI 達成度 (%)
	目標	0地区	1地区	2地区	3地区	4地区	4地区	
	実績	0地区	1地区	1地区	1地区	1地区	2地区	
事業名	未来の担い手育成事業			担当課	協働のひとつづくり推進課			
R2事業概要	目的	学校を核(拠点)とした、子どもの育ちを地域で支える体制の確立により、子育て世代のUIターン促進や、放課後又は長期休業時の子どもの安心安全な学びの場の充実を目指すとともに、多くの住民が学校を活用することで、幼児から高齢者まで、幅広い層の住民が日常的に集う拠点となることを目的とし、地域の魅力づくりと個性を伸ばす教育環境づくりを進め、公民館と連携した社会教育活動を推進する。						
	対象者	豊川・小野地区住民						
	手段(内容)	豊川小学校、戸田小学校(新規)に社会教育コーディネーターを配置。学校や児童のニーズを把握し、公民館や地域自治組織をはじめとした地域住民と協働のもと、放課後、休日、長期休業期間を中心に、学校を拠点とした活動を実施した。 【実績】 豊川小学校 計1,943名(子ども 963名、大人 980名)、活動回数68回 ※前年実績 計2,087名(子ども 842名、大人1,245名)、活動回数76回 戸田小学校 計3,928名(子ども2,199名、大人1,729名)、活動回数22回						
R2事業実績 に対する検証	課題(推進上の問題・外部環境の変化等)			改善点の検証				
	コーディネーター設置区域での情報共有は促進されたものの、社会教育コーディネーター間、行政、中間支援組織など、地域づくり・ひとつづくりに取り組む主体者同士の情報共有や学び合いが不足していた。			地区での取り組みをさらに促進するためには、地域内のみならず外部の力(異質な他者)を活用することも必要な視点であり、コーディネーター活動の支援策の一つとして意識的に取り組む。				
R3の取組方針 (第2期総合戦略における 取り扱い)	小中同一校舎でスタートする匹見地区への社会教育コーディネーターの配置を行うなど、小学校を核とした様々な世代と子どもが安心して交流し学べる場づくりを計画的に実施する。 地域づくり・ひとつづくりに取り組む主体者同士の情報共有及び学び合いの場を月1回以上、設け、社会に開かれた教育課程の実現を図る。 第2期総合戦略においては、基本目標Ⅱ 基本施策2「地域・世代を超えた学習機会の創出」へ明確に位置づけた。 関連KPI: ①学校の学びを地域活動に活かす取組の実施地区数							
対象事業費 (単位:千円)	年度	予算額	決算額 (見込額)	財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	H27							
	H28							
	H29	令和2年度より事業統合						
	H30							
	R1							
R2	22,189	22,189	14,274		3,600	4,315		
備考	地方創生推進交付金							

総合戦略事業シート				項番	1-2-2			
総合戦略における位置づけ	基本目標	3. 益田に帰帰・流入・定着するひとの流れをつくる						
	施策名	(4) 地域を支え魅力を向上させる人材の育成						
施策のKPI (重要業績評価指数)	設定項目	キャリア教育（夢の教室、新職場体験、益田版カタリ場）に取組む学校数						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2 KPI 達成度 (%)
	目標	小学校16校 中学校12校 高校 4校	小学校16校 中学校12校 高校 4校	小学校15校 中学校11校 高校 4校	小学校15校 中学校11校 高校 5校	小学校15校 中学校11校 高校 6校	小学校15校 中学校10校 高校 4校	
	実績	小学校3校 中学校3校 高校 3校	小学校16校 中学校12校 高校 2校	小学校13校 中学校11校 高校 3校	小学校15校 中学校11校 高校 2校	小学校12校 中学校 8校 高校 2校	小学校13校 中学校 8校 高校 3校	
事業名	ひとつづくり推進事業費			担当課	協働のひとつづくり推進課			
R2事業概要	目的	「未来を担うひとつづくり計画」に則り、「対話」の手法を用いたライフキャリア教育を実施することで、多様な価値観を有する「ますだのひと（大人）」と子どもたちの出会う場を創出し、子どもたちの生きる力を醸成することを目的とする。						
	対象者	小・中・高校生、学校関係者、キャリア教育関係者						
	手段 (内容)	以下の、ライフキャリアプログラムの実施 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 益田市内 小学校（12校）5年生、参加児童360名 ・新・職場体験 益田市内 中学校（10校）、参加児童380名 取組事業所数139事業所（申込時点では220事業所） ・益田版カタリ場 小学校13校、中学校8校、高等学校2校 参加者数1,298名、参加キャスト462名（延べ）						
R2事業実績 に対する検証	課題（推進上の問題・外部環境の変化等）			改善点の検証				
	ライフキャリアプログラムに参加した大人を意図的に次の活動（公民館活動や地域自治組織の活動）につなげることが不十分であった。			多世代との対話をベースとしたライフキャリア教育の実施により、子どもたちの意識の変容が表れている。 ・益田には魅力的な大人が多い R1:86% → R2目標:88% 実績85% ・一度は外に出たとしても、益田市で暮らしたい R1:71% → R2目標:75% 実績71% ・カタリ場を通して、日常生活に前向きになった R1:92% → R2目標:94% 実績87% 同時に、関わる大人にとっても、子どもたちと対話することで、子どもたちに関ることや地域づくりに、より主体的に関わろうとする意識が高まったという事例が発生している。				
R3の取組方針 (第2期総合戦略における取 り扱い)	持続可能なひとつづくり・地域づくりの好循環を生むためには、ライフキャリア教育に関わった大人を、より意識的に次の地域活動へつなげることが必要であり、そうした場づくりを意識して行う。 第2期総合戦略においては、横断目標 基本施策1「時代を担う人材の育成・確保の推進」へ明確に位置づけた。また、これを推進する手段として「協働（のまちづくりの推進）」も同じく横断目標に位置づけた。KPIにも設定されている、県外の若者やインターンシップの力も結集し、推進する。 関連KPI： ①益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数と満足度 ②益田市で一週間程度、インターンシップや体験活動した延べ人数と満足度 ③行政と市民や団体などが協働して地域の課題解決に取り組んだ件数 ④ライフキャリア教育に関わる大人の数（益田版カタリ場、新・職場体験、中間支援組織） ⑤ライフキャリア教育に関わる市外の若者の数 ⑥キャリア教育に参加した企業数 ⑦「将来、益田に住みたい」と答えた新成人の割合							
対象事業費 (単位:千円)	年度	予算額	決算額 (見込額)	財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	H27							
	H28							
	H29	令和2年度より事業統合						
	H30							
	R1							
R2	23,450	23,450	13,450		10,000			
備考	地方創生応援税制寄附金							

総合戦略事業シート				項番	1-2-3			
総合戦略における位置づけ	基本目標							
	施策名	益田市の総合戦略における設定項目なし						
施策のKPI (重要業績評価指数)	設定項目							
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2 KPI 達成度 (%)
	目標	/	/	/	/	/	/	
	実績	/	/	/	/	/	/	
事業名	公民館管理・拠点化推進事業費			担当課	協働のひとつづくり推進課			
R2事業概要	目的	地域づくり・ひとつづくりの拠点である公民館の運営及び維持管理。						
	対象者	市民						
	手段 (内容)	①運営に関すること ・会計年度任用職員の雇用。 ・20地区の公民館に対し、補助金を支出。 公民館活動補助金、ふるさと活動モデル事業補助金（国県補助等）※ ※明誠高校のキャリアサポート事業を主に、高校生の学校外活動の充実を図る ②維持管理に関すること ・直接実施						
R2事業実績 に対する検証	課題（推進上の問題・外部環境の変化等）	改善点の検証						
		①運営に関すること（ふるさと活動モデル事業補助金に関すること） ・子どもの中には授業という感覚が抜けず主体性に欠ける面があった。 ②維持管理に関すること ・施設の老朽化			①運営に関すること ・子どもに主体性を持たせるためには、事業に関わる公民館や中間支援組織のファシリテート能力が問われる。 ②維持管理に関すること ・益田市総合管理計画個別施設計画（第1期）及び直近の検討状況に基づき、計画的に整備を行う必要がある。			
R3の取組方針 (第2期総合戦略における 取り扱い)	第2期総合戦略において、地域づくり・ひとつづくりの拠点と位置付ける公民館の果たすべき役割については、基本目標Ⅱ 基本施策2「地域・世代を超えた学習機会の創出」へ明確に位置づけた。KPI②の設定にあたっては、特に次世代の担い手育成を意識し、多世代をつなぐ取組の実践を踏まえ、高校生以下の数も明記することとした。 関連KPI： ①学校の学びを地域活動に活かす取組の実施地区数 ②公民館活動の参加者数（うち、高校生以下の数）							
対象事業費 (単位:千円)	年度	予算額	決算額 (見込額)	財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	H27							
	H28							
	H29							
	H30							
	R1							
R2	203,631	203,277	950			878	201,449	
備考	今回初めて評価対象のため元年度以前は未記入							